

乙訓保健所管内の感染症発生動向調査による週報

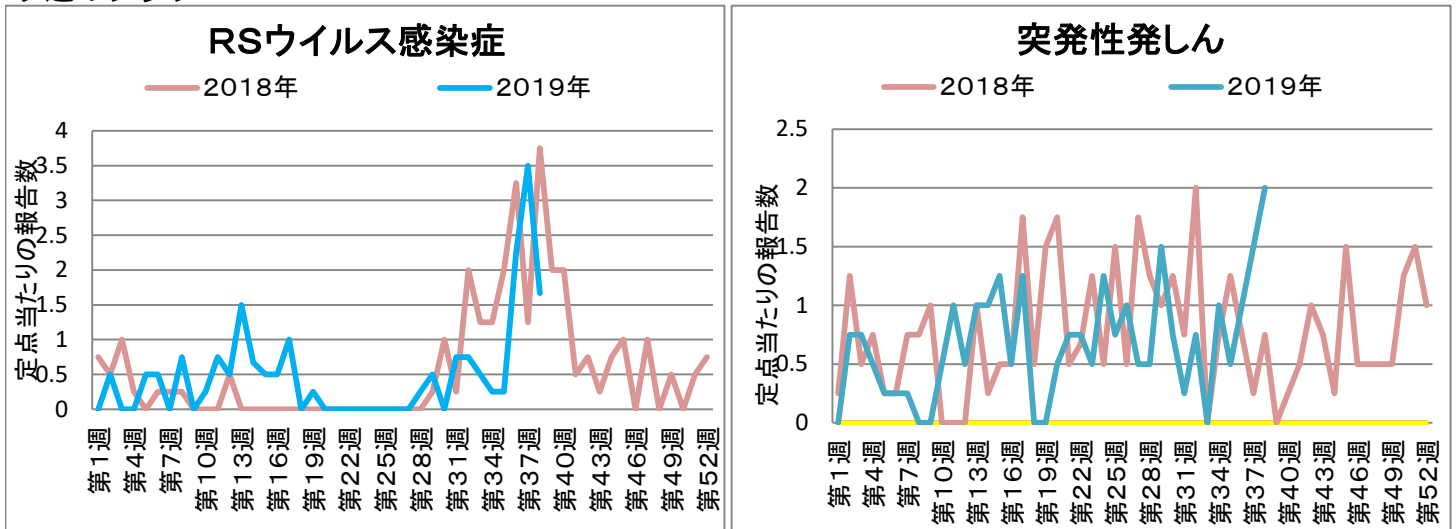
(インフルエンザ定点、小児科定点、眼科定点、全数報告)

第 38 週 2019年9月16日 ~ 2019年9月22日

今週のコメント

- RSウイルス感染症の報告数は、やや減少しましたが依然高値です(定点あたり1.67)。この疾患の症状は鼻汁と発熱、のちに咳です。生後数か月以内の乳児では細気管支炎や肺炎となることがあり要注意です。飛沫感染と接触感染が主です。
- 突発性発疹の報告数が増加しました(定点あたり2.00)。この疾患は乳児と1歳児が患者の99%を占め、突然3日間程度38度以上発熱し、解熱前後に鮮紅色の斑丘疹が体幹を中心に顔面、四肢に数日間出現します。ウイルス感染症で、予後は一般に良好です。
- 感染性胃腸炎、手足口病の報告数は、依然としてやや高値です。
- 百日咳の報告が1件ありました。
- 9月27日の厚労省報告によると、風しんの報告と、RSウイルス感染症の流行が続いているとのこと。

今週のグラフ



* 赤線 流行警報基準値です 黄線 警報継続基準値です

今週の報告状況

疾病名	定点当たりの報告数	疾病名	定点当たりの報告数
インフルエンザ	0.40	伝染性紅斑	1.00
RSウイルス感染症	1.67	突発性発しん	2.00
咽頭結膜熱	0.33	ヘルパンギーナ	0.67
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.33	流行性耳下腺炎	0.67
感染性胃腸炎	7.33	急性出血性結膜炎	-
水痘	-	流行性角結膜炎	-
手足口病	4.33		
1~4類、5類全数報告疾病			
百日咳(1人)			

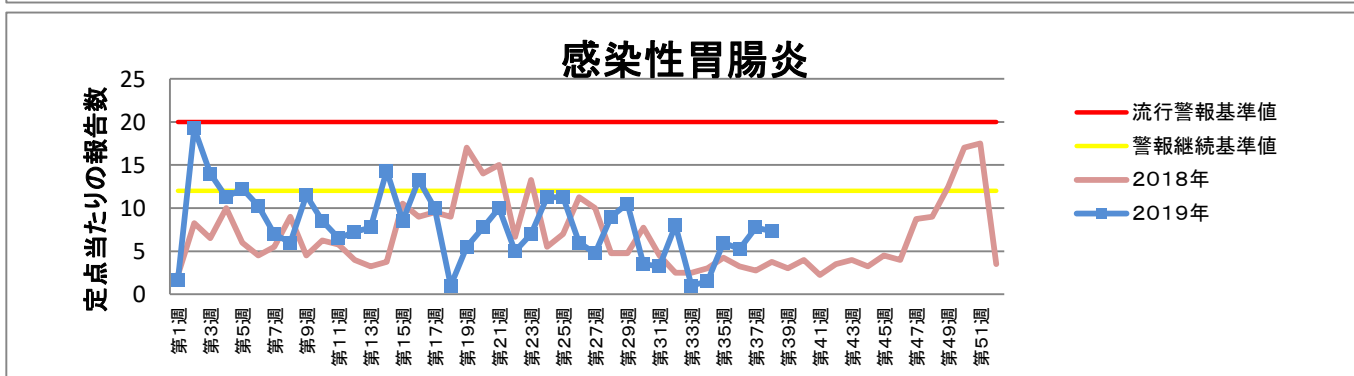
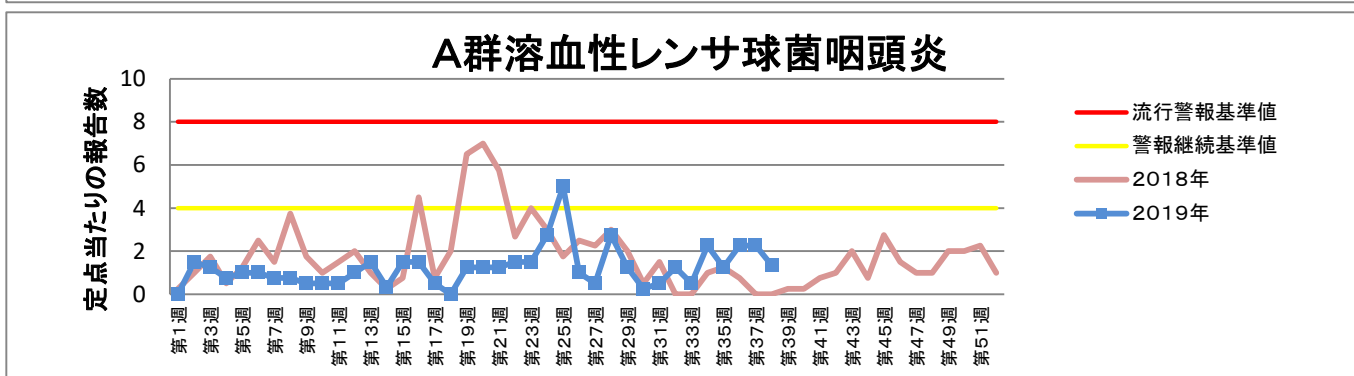
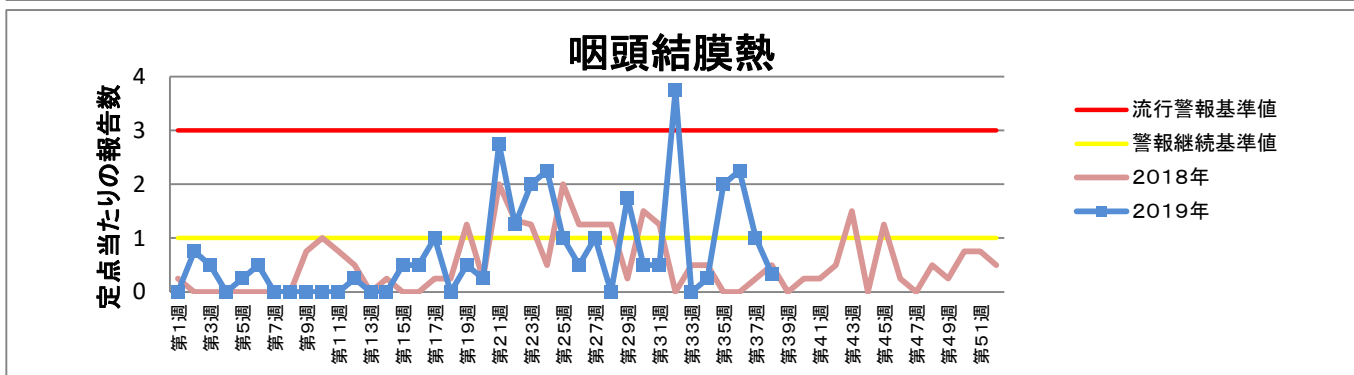
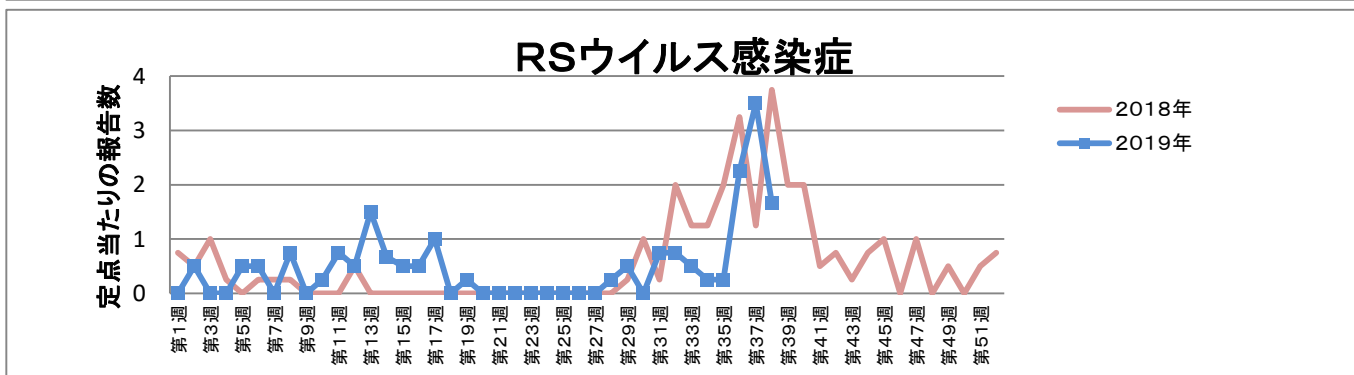
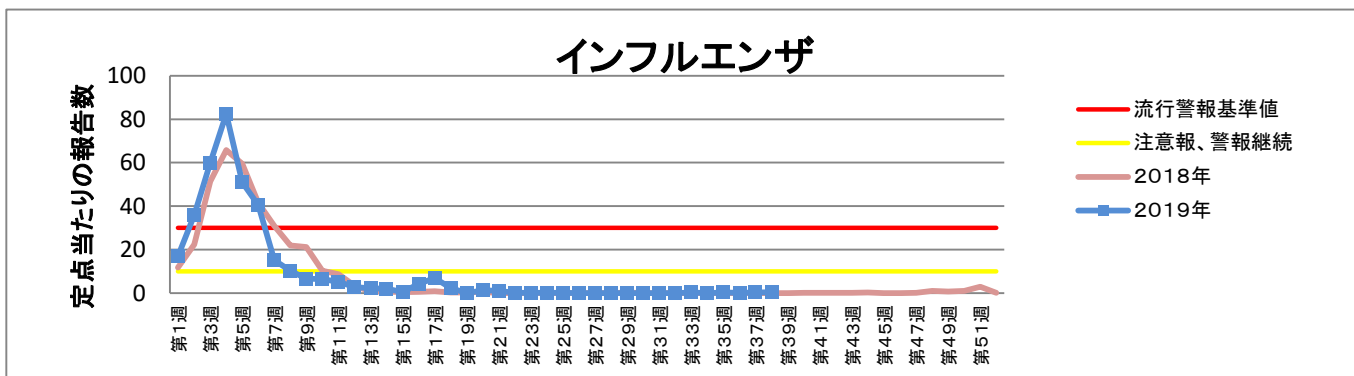
定点当たりの報告数 = 1週間の報告件数総数 / 定点数

- * 乙訓管内 インフルエンザ定点 : 7箇所
- 小児科定点 (インフルエンザ以外の疾病) : 4箇所
- 眼科定点 : 1箇所

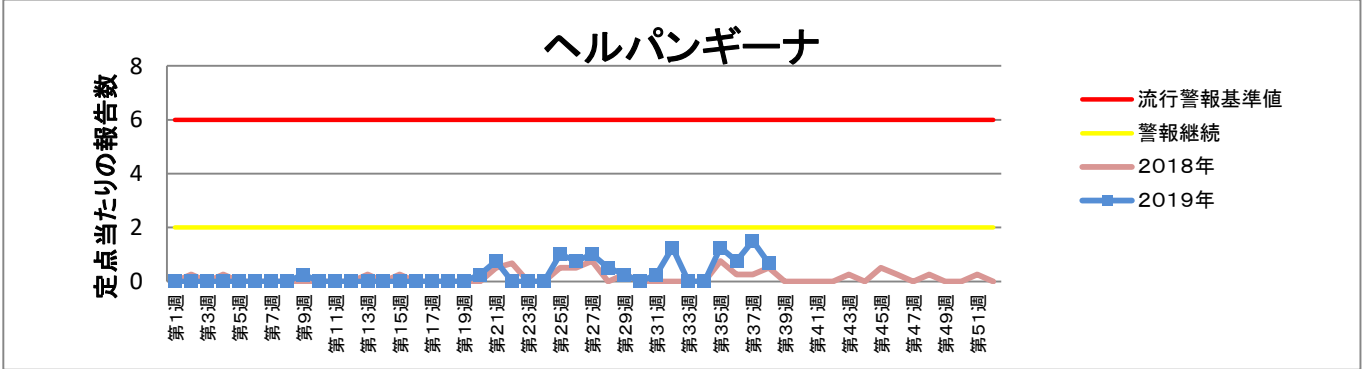
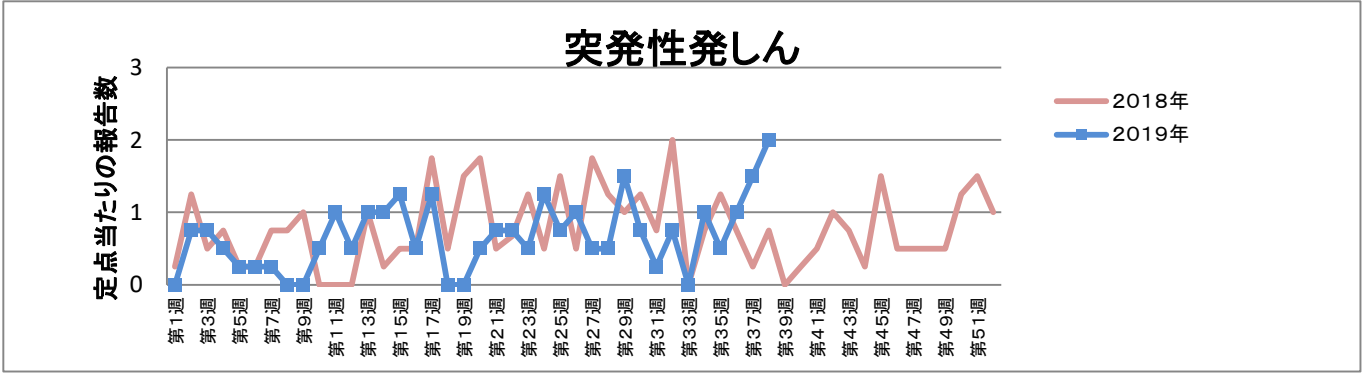
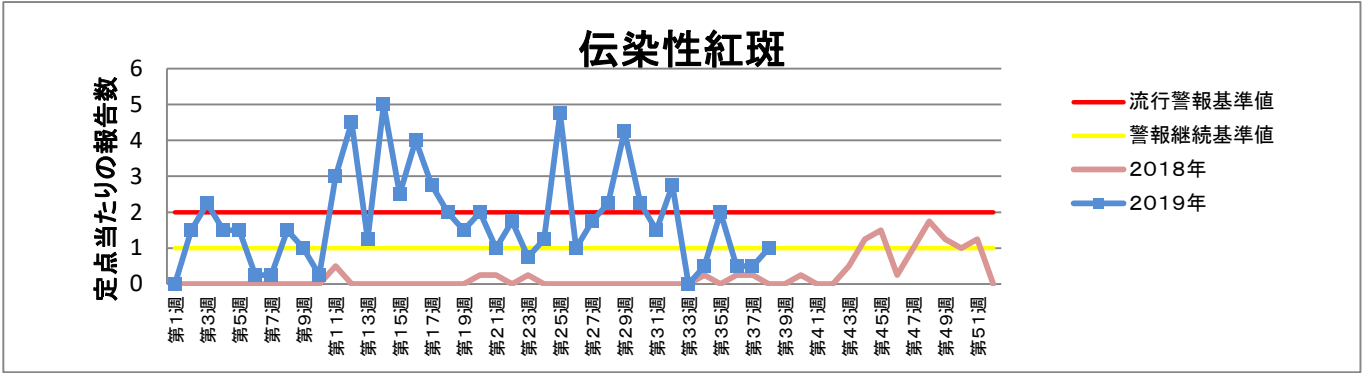
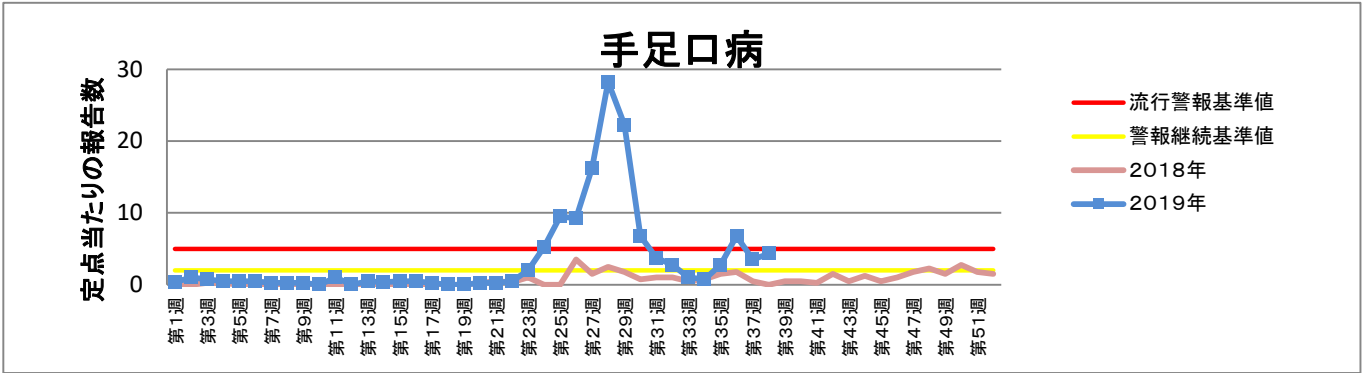
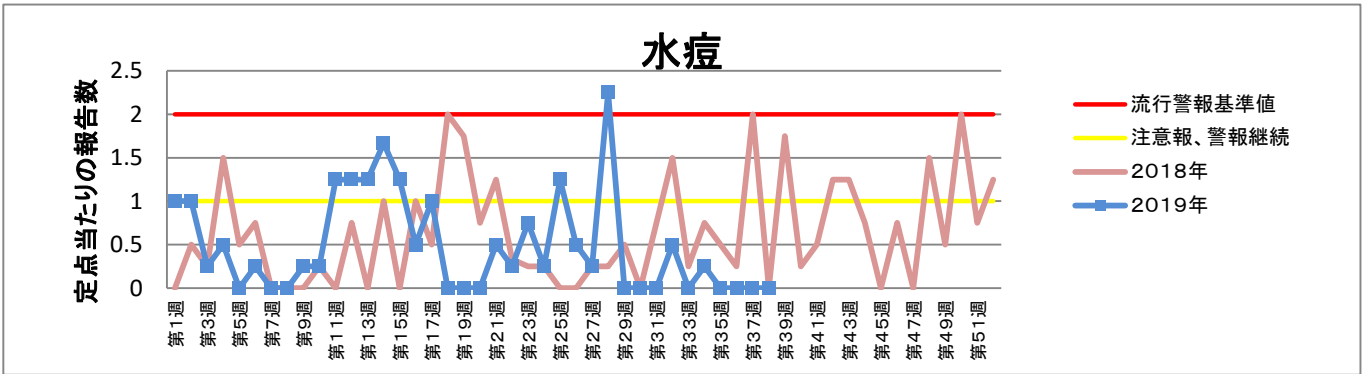
参考資料等

報告週対応表 <http://www.nih.go.jp/niid/ja/calendar.html>

乙訓保健所管内定点当たり報告数推移



乙訓保健所管内定点当たり報告数推移



乙訓保健所管内定点当たり報告数推移

